

1. 試験目的 効果確認

2. 試験内容

(1)実施場所 弘前市独狐 (2)実施農家 町田 昌三

(3)実施支店 弘前西支店 (4)担当者 福田 静

(5)概要 作物名 トマト 品種 桃太郎ワンダー

作型 夏秋 栽植密度 畦幅 60 cm 株間 35 cm

播種・定植日 定植 ・ 4月24日 (10a当たり 1980 本)

マルチ使用 有 収穫始め 6月29日

(6)試験構成 試験面積 6 a (試験区 3 a 対照区 3 a)

資材名	施用日	試験区		対照区	
		施用量	成分内容	施用量	成分内容
スキーポンアグリ	6/21～	2.5kg	酢酸		
合計		2.5kg		0kg	

3. 試験結果

(1)生育状況 (2)収穫状況
【試験区】 普通 【試験区】 普通
【対照区】 普通 【対照区】 普通

(3)品質
【試験区】 普通
【対照区】 普通

(4)農家の意見
効果が実感できなかった。

4. 評価

(1)資材の評価

項目	施用効果	実用性	使いやすさ	総合評価
評価	2	2	3	2

(2)評価の理由
施用効果 効果面から
実用性 効果面から
使いやすさ 普通

(3)その他特記事項

1. 試験目的 高温時の花落ち、尻ぐされの軽減

2. 試験内容

(1)実施場所 大鰐町居士 (2)実施農家 渡辺 正美
 (3)実施支店 大鰐支店 (4)担当者 小堀 一人
 (5)概要
 作物名 トマト 品 種 桃太郎8
 作 型 夏秋 栽植密度 畦幅 90 cm 株間 35 cm
 播種・定植日 定植 ・ 4月28日 (10a当たり 1500 本)
 マルチ使用 有 収穫始め 6月28日

(6)試験構成

試験面積 4 a (試験区 2 a 対照区 2 a)

資材名	施用日	試験区		対照区	
		施用量	成分内容	施用量	成分内容
ウルトラトマトくん	4月10日	28kg	10-10-10		
ウルトラトマトくん	4月10日			28kg	10-10-10
スキーポンアグリ	7月上旬～	500cc			
水					
合 計		28kg		28kg	

3. 試験結果

(1)生育状況 (2)収穫状況
 【試験区】 普通 【試験区】 普通
 【対照区】 普通 【対照区】 普通

(3)品質
 【試験区】 普通
 【対照区】 普通

(4)農家の意見
 特に変わりなかった。生育後半青枯れ病がどちらも変わらず見られた。

4. 評価

(1)資材の評価

項目	施用効果	実用性	使いやすさ	総合評価
評価	3	3	3	3

(2)評価の理由

施用効果 同等
 実用性 同等
 使いやすさ 同等

(3)その他特記事項

7月上旬から月2回2か月かん水を行ったが、差は見られなかった。
 定植時から期間を長く使用すると違いがみられると思う。

1. 試験目的 土壌改良効果確認。

2. 試験内容

(1)実施場所 門外 (2)実施農家 五十嵐 貴人
 (3)実施支店 弘前東 (4)担当者 佐藤 龍彦
 (5)概要
 作物名 ピーマン 品 種 京まつり
 作 型 露地 栽植密度 畦幅 70 cm 株間 60 cm
 播種・定植日 定植 ・ 5月20日・30日 (10a当たり 1100 本)
 マルチ使用 有 収穫始め 7月5日

(6)試験構成

試験面積 5 a (試験区 2.5 a 対照区 2.5 a)

資材名	施用日	試験区		対照区	
		施用量	成分内容	施用量	成分内容
ストロングバランス	5月4日	25kg			
M-10	5月4日			40kg	
合 計		25kg		40kg	

3. 試験結果

(1)生育状況

【試験区】 普通

【対照区】 普通

(2)収穫状況

【試験区】 普通

【対照区】 普通

(3)品質

【試験区】 普通

【対照区】 普通

(4)農家の意見

違いは見えなかった

4. 評価

(1)資材の評価

項目	施用効果	実用性	使いやすさ	総合評価
評価	3	3	3	3

(2)評価の理由

施用効果 同等

実用性 同等

使いやすさ 同等

(3)その他特記事項

1. 試験目的 土壌改良効果確認。

2. 試験内容

(1)実施場所 大秋 (2)実施農家 三上 優子
 (3)実施支店 目屋支店 (4)担当者 小笠原 亮
 (5)概要
 作物名 ピーマン 品 種 京まつり
 作 型 夏秋 栽植密度 畦幅 70 cm 株間 60 cm
 播種・定植日 定植 ・ 5月15日 (10a当たり 1100 本)
 マルチ使用 有 収穫始め 6月25日

(6)試験構成

試験面積 2 a (試験区 1 a 対照区 1 a)

資材名	施用日	試験区		対照区	
		施用量	成分内容	施用量	成分内容
ストロングバランス	4月29日	10kg			
粒状苦土石灰M-10	4月29日			20kg	
合 計		10kg		20kg	

3. 試験結果

(1)生育状況

【試験区】 普通
 【対照区】 普通

(2)収穫状況

【試験区】 普通
 【対照区】 普通

(3)品質

【試験区】 普通
 【対照区】 普通

(4)農家の意見

両区とも尻ぐされは同程度見られ、どちらが良いという判断ができなかった。

4. 評価

(1)資材の評価

項目	施用効果	実用性	使いやすさ	総合評価
評価	3	4	3	3

(2)評価の理由

施用効果 両区とも尻ぐされが多く効果の判断ができなかった。

実用性 施用量がM-10より少なく済むのがよい。

使いやすさ 既存の土壌改良材と使い方が変わらないため。

(3)その他特記事項

1. 試験目的 肥効確認。

2. 試験内容

(1)実施場所 弘前市津賀野 (2)実施農家 小山内 正一
 (3)実施支店 弘前中央支店 (4)担当者 佐藤 慎
 (5)概要
 作物名 ピーマン 品 種 京まつり
 作 型 夏秋 栽植密度 畦幅 70 cm 株間 60 cm
 播種・定植日 定植 ・ 5月4日 (10a当たり 1100 本)
 マルチ使用 有 収穫始め 6月15日

(6)試験構成

試験面積 8 a (試験区 4 a 対照区 4 a)

資材名	施用日	試験区(kg/10a)				対照区(kg/10a)				
		施用量	N	P	K	施用量	N	P	K	
基肥	新豊作太郎	4月27日	80	14.4	8.0	8.0				
	CDUS555+スーパーエコロング	4月27日								
追肥										
合 計			80	14.4	8.0	8.0	100	14.4	13.2	14.4

3. 試験結果

(1)生育状況

【試験区】 良好
 【対照区】 良好

(2)収穫状況

【試験区】 良好
 【対照区】 良好

(3)品質

【試験区】 良好
 【対照区】 良好

(4)農家の意見

生育前半は、試験区の方が良好であった。後半は差が見られなかった。

4. 評価

(1)資材の評価

項目	施用効果	実用性	使いやすさ	総合評価
評価	4	4	4	4

(2)評価の理由

施用効果 試験区の方が生育が良かった事から
 実用性 対照区より優るため
 使いやすさ 併用せず、1種類で済む事から

(3)その他特記事項

昨年のような、生育後半(9月以降)の生育差は見られなかった。

1. 試験目的 肥効確認。

2. 試験内容

(1)実施場所 碓ヶ関 (2)実施農家 山田 尚光
 (3)実施支店 碓ヶ関支店 (4)担当者 小堀 一人
 (5)概要
 作物名 ピーマン 品 種 京まつり
 作 型 夏秋 栽植密度 畦幅 50 cm 株間 60 cm
 播種・定植日 定植 ・ 5月3日 (10a当たり 960 本)
 マルチ使用 有 収穫始め 6月14日

(6)試験構成

試験面積 7 a (試験区 4 a 対照区 3 a)

資材名	施用日	試験区(kg/10a)				対照区(kg/10a)				
		施用量	N	P	K	施用量	N	P	K	
基肥	新豊作太郎	4/14	45	8.1	4.5	4.5				
	CDUS555+スーパーエコロング	4/14					16+24	8.2	7.7	8.2
追肥										
合 計			45	8.1	4.5	4.5	30	8.2	7.7	8.2

3. 試験結果

(1)生育状況

【試験区】 普通
 【対照区】 普通

(2)収穫状況

【試験区】 普通
 【対照区】 普通

(3)品質

【試験区】 普通
 【対照区】 普通

(4)農家の意見

試験区が初期生育時にやや葉色が薄かった気がするが、その後問題なかった。

4. 評価

(1)資材の評価

項目	施用効果	実用性	使いやすさ	総合評価
評価	3	3	4	3

(2)評価の理由

施用効果 同等

実用性 同等

使いやすさ やや良

(3)その他特記事項

試験区ではリン酸・カリが少なく初期生育に不安があったが、変わらず生育は良好であった。

1. 試験目的 追肥効果の確認。

2. 試験内容

(1)実施場所 弘前市糠坪

(2)実施農家 棟方 利明

(3)実施支店 弘前西支店

(4)担当者 福田 静

(5)概要

作物名 ピーマン

品 種 京まつり

作 型 半促成

栽植密度 畦幅 70 cm 株間 60 cm

播種・定植日 定植 ・ 5月3日

(10a当たり 1100 本)

マルチ使用 有

収穫始め 6月15日

(6)試験構成

試験面積 4 a (試験区 2 a 対照区 2 a)

資材名	施用日	試験区(kg/10a)				対照区(kg/10a)				
		施用量	N	P	K	施用量	N	P	K	
基肥										
追肥	アクワン1号	6/18~	2	0.3	0.1	0.3				
	OK-F-1	6/18~					2	0.2	0.2	0.5
合 計			2	0.3	0.1	0.3	2	0.2	0.2	0.5

3. 試験結果

(1)生育状況

【試験区】 良好

【対照区】 普通

(2)収穫状況

【試験区】 良好

【対照区】 良好

(3)品質

【試験区】 良好

【対照区】 良好

(4)農家の意見

試験区の方が草勢が良く、回復が早かった。

4. 評価

(1)資材の評価

項目	施用効果	実用性	使いやすさ	総合評価
評価	4	4	4	4

(2)評価の理由

施用効果 効果面から

実用性 効果面から

使いやすさ 溶けやすく使いやすい

(3)その他特記事項

1. 試験目的 追肥効果の確認。

2. 試験内容

(1)実施場所 弘前市鼻和 (2)実施農家 三上 圭一
 (3)実施支店 弘前西支店 (4)担当者 福田 静
 (5)概要
 作物名 ピーマン 品 種 京まつり
 作 型 露地 栽植密度 畦幅 70 cm 株間 60 cm
 播種・定植日 定植 ・ 5月19日 (10a当たり 1100 本)
 マルチ使用 有 収穫始め 7月8日

(6)試験構成

試験面積 6 a (試験区 3 a 対照区 3 a)

資材名	施用日	試験区(kg/10a)				対照区(kg/10a)				
		施用量	N	P	K	施用量	N	P	K	
基肥										
追肥	アクワン1号	6/25~	2	0.3	0.1	0.3				
	OK-F-1	6/25~					2	0.2	0.2	0.5
合 計			2	0.3	0.1	0.3	2	0.2	0.2	0.5

3. 試験結果

(1)生育状況

【試験区】 普通
 【対照区】 普通

(2)収穫状況

【試験区】 普通
 【対照区】 普通

(3)品質

【試験区】 普通
 【対照区】 普通

(4)農家の意見

溶けやすいのが良かった。

4. 評価

(1)資材の評価

項目	施用効果	実用性	使いやすさ	総合評価
評価	3	3	4	3

(2)評価の理由

施用効果 対照区と同等
 実用性 対照区と同等
 使いやすさ 溶けやすく使いやすい

(3)その他特記事項

作付場所の排水が悪いため比較が難しい

1. 試験目的

追肥効果確認。

2. 試験内容

(1)実施場所 大鰐町唐牛

(2)実施農家 藤田 勉

(3)実施支店 大鰐支店

(4)担当者 小堀 一人

(5)概要

作物名 トマト

品 種 桃太郎8

作 型 夏秋

栽植密度 畦幅 60 cm 株間 35 cm

播種・定植日 定植 ・ 4月30日

(10a当たり 2200 本)

マルチ使用 有

収穫始め 6月30日

(6)試験構成

試験面積 4 a (試験区 2 a 対照区 2 a)

資材名	施用日	試験区(kg/10a)				対照区(kg/10a)				
		施用量	N	P	K	施用量	N	P	K	
基肥	ウルトラトマトくん	4月15日	32	3.2	3.2	3.2				
	ウルトラトマトくん	4月15日					32	3.2	3.2	3.2
追肥	アクワン1号	6月17日	5	0.5	0.5	1.4				
	OKF-1	6月17日					3	0.5	0.3	0.6
合 計			37	3.7	3.7	4.6	35	3.7	3.5	3.8

3. 試験結果

(1)生育状況

【試験区】 普通

【対照区】 普通

(2)収穫状況

【試験区】 普通

【対照区】 普通

(3)品質

【試験区】 普通

【対照区】 普通

(4)農家の意見

どちらもほとんど変わらなかった。

4. 評価

(1)資材の評価

項目	施用効果	実用性	使いやすさ	総合評価
評価	3	3	3	3

(2)評価の理由

施用効果 同等

実用性 同等

使いやすさ 同等

(3)その他特記事項

対照区でカリが高いためなのか、葉先枯れが若干少なかったような気がした。

1. 試験目的

追肥効果確認。

2. 試験内容

- (1)実施場所 大鰐町虹貝 (2)実施農家 山口 努
- (3)実施支店 大鰐支店 (4)担当者 小堀 一人
- (5)概要
- 作物名 トマト 品 種 りんか409
- 作 型 夏秋 栽植密度 畦幅 60 cm 株間 35 cm
- 播種・定植日 定植 ・ 5月8日 (10a当たり 2200 本)
- マルチ使用 有 収穫始め 6月10日

(6)試験構成

試験面積 4 a (試験区 2 a 対照区 2 a)

資材名	施用日	試験区(kg/10a)				対照区(kg/10a)				
		施用量	N	P	K	施用量	N	P	K	
基肥	スーパーエコロング100	4月20日	10	1.4	1.2	1.4				
	スーパーエコロング100	4月20日								
追肥	アクワン1号	5/15~	5	0.5	0.5	1.4				
	勝酸アリ	5/15~								
合 計			15	1.9	1.7	2.8	13	1.9	1.3	2.0

3. 試験結果

(1)生育状況

- 【試験区】 良好
- 【対照区】 良好

(2)収穫状況

- 【試験区】 良好
- 【対照区】 良好

(3)品質

- 【試験区】 良好
- 【対照区】 良好

(4)農家の意見

全般にどちらも良好であった。
試験区のほうが葉先枯れが少なかった。また使いたい。

4. 評価

(1)資材の評価

項目	施用効果	実用性	使いやすさ	総合評価
評価	4	3	3	4

(2)評価の理由

- 施用効果 やや良行
- 実用性 普通
- 使いやすさ 普通

(3)その他特記事項

試験区のほうが葉先枯れ少なく見られた。
どちらも溶かして使用するが、溶け方は同じようであった。

1. 試験目的

肥効確認。

2. 試験内容

(1)実施場所

田代

(2)実施農家

小田桐 昭一

(3)実施支店

目屋支店

(4)担当者

小笠原 亮

(5)概要

作物名

りんどう

品 種

スマイル長野

作 型

露地栽培

栽植密度

畦幅 100 cm 株間 20 cm

播種・定植日

(10a当たり 5600 本)

マルチ使用

有

収穫始め

6月28日

(6)試験構成

試験面積

2 a

(試験区

1 a

対照区

1 a)

資材名	施用日	試験区(kg/10a)				対照区(kg/10a)				
		施用量	N	P	K	施用量	N	P	K	
基肥	りんどう決まりて一本	5月3日	40	6.0	4.0	4.8				
	りんどうエコ一発	5月3日					60	6.0	7.2	6.0
追肥										
合 計			40	6.0	4.0	4.8	60	6.0	7.2	6.0

3. 試験結果

(1)生育状況

【試験区】

良好

(2)収穫状況

【試験区】

普通

【対照区】

普通

【対照区】

普通

(3)品質

【試験区】

普通

【対照区】

普通

(4)農家の意見

対照区より初期生育がよかった。

4. 評価

(1)資材の評価

項目	施用効果	実用性	使いやすさ	総合評価
評価	4	4	3	4

(2)評価の理由

施用効果

対照区より良い生育だったため。

実用性

対照区より良い生育だったため。

使いやすさ

同等

(3)その他特記事項

1. 試験目的 効果確認

2. 試験内容

(1)実施場所 鬼沢 (2)実施農家 鬼檜宮農組合

(3)実施支店 弘前北支店 (4)担当者 長尾 紀夫

(5)概要
作物名 ミニトマト 品 種 アンジェレ

作 型 ハウス 栽植密度 畦幅 cm 株間 30 cm

播種・定植日 定植 ・ 6/3~9 (10a当たり 1443 本)

マルチ使用 無 収穫始め 7/20~

(6)試験構成

試験面積 23 a (試験区 23 a 対照区 a)

資材名	施用日	試験区		対照区	
		施用量	成分内容	施用量	成分内容
LEAF ENERGY	6/20~	250ml	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
合 計		250ml	<input type="text"/>	0kg	<input type="text"/>

3. 試験結果

(1)生育状況 (2)収穫状況
 【試験区】 良好 【試験区】 良好
 【対照区】 【対照区】

(3)品質
 【試験区】 良好
 【対照区】

(4)農家の意見
 生育は順調に生育していた。茎の割れが少なかったためそう感じている。農薬の散布回数も平年より2回ほど軽々なっている

4. 評価

(1)資材の評価

項目	施用効果	実用性	使いやすさ	総合評価
評価	4	3	3	3

(2)評価の理由

施用効果 有り
 実用性 有り
 使いやすさ 有り

(3)その他特記事項

1. 試験目的 高温時の花落ち、尻ぐされの軽減

2. 試験内容

(1)実施場所 大鰐町唐牛 (2)実施農家 藤田 勉
 (3)実施支店 大鰐支店 (4)担 当 者 小堀 一人
 (5)概 要
 作物名 トマト 品 種 桃太郎8
 作 型 夏秋 栽植密度 畦幅 60 cm 株間 35 cm
 播種・定植日 定植 ・ 4月30日 (10a当たり 1700 本)
 マルチ使用 有 収穫始め 6月29日

(6)試験構成

試験面積 4 a (試験区 2 a 対照区 2 a)

資材名	施用日	試験区		対照区	
		施用量	成分内容	施用量	成分内容
ウルトラトマトくん	4月15日	32kg	10-10-10		
ウルトラトマトくん	4月15日			32kg	10-10-10
LEAF ENERGY	5月30日	60ml			
水	5月30日				
合 計		32kg		32kg	

3. 試験結果

(1)生育状況 (2)収穫状況
 【試験区】 普通 【試験区】 普通
 【対照区】 普通 【対照区】 普通

(3)品質
 【試験区】 普通
 【対照区】 普通

(4)農家の意見
 使いやすく良かったが、差は見られなかった。

4. 評価

(1)資材の評価

項目	施用効果	実用性	使いやすさ	総合評価
評価	3	3	3	3

(2)評価の理由

施用効果 同等
 実用性 同等
 使いやすさ 同等

(3)その他特記事項

5月末から月1回8月末までの4回かん水時に加用して使用するのので使いやすく良かった。定植時から使用すると差が見られた気がする。

1. 試験目的 土壌改良効果確認。

2. 試験内容

(1)実施場所 松木平 (2)実施農家 相馬 清隆
 (3)実施支店 弘前東 (4)担当者 佐藤 龍彦
 (5)概要
 作物名 にんにく 品 種 白玉王
 作 型 露地 栽植密度 畦幅 120 cm 株間 15 cm
 播種・定植日 播種 ・ 2022/9/24 (10a当たり 14,000 本)
 マルチ使用 有 収穫始め 6月24日

(6)試験構成

試験面積 10 a (試験区 5 a 対照区 5 a)

資材名	施用日	試験区		対照区	
		施用量	成分内容	施用量	成分内容
ペレットン	9月20日	150kg			
もみガラ堆肥	9月20日			1000kg	
合 計		150kg		1000kg	

3. 試験結果

(1)生育状況 (2)収穫状況
 【試験区】 良好 【試験区】 普通
 【対照区】 良好 【対照区】 普通

(3)品質
 【試験区】 普通
 【対照区】 普通

(4)農家の意見
 違いは分からなかった

4. 評価

(1)資材の評価

項目	施用効果	実用性	使いやすさ	総合評価
評価	3	3	4	4

(2)評価の理由

施用効果 同等
 実用性 同等
 使いやすさ 少量なので楽

(3)その他特記事項

1. 試験目的 土壌改良効果確認。

2. 試験内容

- (1)実施場所 弘前市大和沢 (2)実施農家 やさい育苗センター
 (3)実施支店 育苗係 (4)担当者 奈良 浩照
 (5)概要
 作物名 にんにく 品 種 白玉王
 作 型 栽培密度 畦幅 160 cm 株間 15 cm
 播種・定植日 播種 ・ 9月14日 (10a当たり 14800 本)
 マルチ使用 有 収穫始め 6月17日

(6)試験構成

試験面積 80 a (試験区 40 a 対照区 40 a)

資材名	施用日	試験区			対照区		
		施用量	成分内容		施用量	成分内容	
ペレットン	9月5日	71.25kg	1.63	4.84	1.85		
フミカルアップ	9月5日					105kg	1.57 1.99 0.94
にんにくエース	9月12日	80kg	11.2	12.8	8		
にんにくエース	9月12日					80kg	11.2 12.8 8
合 計		151.25kg	12.83	17.64	9.85	185kg	12.77 14.79 8.94

3. 試験結果

- (1)生育状況 (2)収穫状況
 【試験区】 良好 【試験区】 良好
 【対照区】 良好 【対照区】 良好

- (3)品質
 【試験区】 良好
 【対照区】 良好

(4)農家の意見
 春先は変わらずだったが、その後草勢が良く非常に良い。

4. 評価

(1)資材の評価

項目	施用効果	実用性	使いやすさ	総合評価
評価	4	3	3	4

(2)評価の理由

- 施用効果 生育が良く球も大きかった
 実用性
 使いやすさ 湿気が多い

(3)その他特記事項

1. 試験目的 肥効確認。

2. 試験内容

(1)実施場所 松木平 (2)実施農家 相馬 清隆
 (3)実施支店 弘前東 (4)担当者 佐藤 龍彦
 (5)概要
 作物名 にんにく 品 種 白玉王
 作 型 露地 栽植密度 畦幅 120 cm 株間 15 cm
 播種・定植日 播種 ・ 9月24日 (10a当たり 14000 本)
 マルチ使用 有 収穫始め 6月24日

(6)試験構成

試験面積 20 a (試験区 10 a 対照区 10 a)

資材名	施用日	試験区(kg/10a)				対照区(kg/10a)				
		施用量	N	P	K	施用量	N	P	K	
基肥	にんにくSPプラス	2022/9/29	160	24.0	22.4	12.8				
	にんにくエース	2022/9/29								
追肥										
	S 646	3/23・4/25					60	19.2	4.8	19.2
合 計			160	24.0	22.4	12.8	120	27.6	14.4	25.2

3. 試験結果

(1)生育状況 (2)収穫状況
 【試験区】 良好 【試験区】 普通
 【対照区】 良好 【対照区】 普通

(3)品質
 【試験区】 普通
 【対照区】 普通

(4)農家の意見
 大きく差は分らないが、追肥の手間を考えると楽。

4. 評価

(1)資材の評価

項目	施用効果	実用性	使いやすさ	総合評価
評価	3	4	4	4

(2)評価の理由

施用効果 同等
 実用性 あり
 使いやすさ 良い

(3)その他特記事項

1. 試験目的 肥効確認。

2. 試験内容

(1)実施場所 弘前市大和沢 (2)実施農家 やさい育苗センター
 (3)実施支店 育苗係 (4)担当者 奈良 浩照
 (5)概要
 作物名 にんにく 品 種 白玉王
 作 型 栽培密度 畦幅 160 cm 株間 15 cm
 播種・定植日 播種 ・ 9月14日 (10a当たり 14800 本)
 マルチ使用 有 収穫始め 6月17日

(6)試験構成

試験面積 70 a (試験区 30 a 対照区 40 a)

資材名	施用日	試験区(kg/10a)				対照区(kg/10a)				
		施用量	N	P	K	施用量	N	P	K	
基肥	にんにくSPプラス	9月12日	200	30.0	14.0	16.0				
	コープにんにくZ	9月12日								
追肥										
合 計			200	30.0	14.0	16.0	200	30.0	30.0	16.0

3. 試験結果

(1)生育状況 (2)収穫状況
 【試験区】 良好 【試験区】 良好
 【対照区】 良好 【対照区】 良好

(3)品質
 【試験区】 良好
 【対照区】 良好

(4)農家の意見
 そんなに変わらない

4. 評価

(1)資材の評価

項目	施用効果	実用性	使いやすさ	総合評価
評価	4	3	3	3

(2)評価の理由

施用効果 草丈、球ともに大きく感じた
 実用性
 使いやすさ

(3)その他特記事項